

- 記者発表資料 -



国道23号名豐道路

~全線開涌2か月後の交通状況~



令和7年3月8日 (土) に蒲郡バイパス (豊川為当 I C~蒲郡 I C) が開通したことで、名豊道路が全線開通しました。

開通後の交通状況をとりまとめましたので、お知らせします。

<概要>

【開通区間周辺の変化】

- ○前芝ICから蒲郡ICまでのアクセス性が向上し、 所要時間が最大9分短縮
- ○豊川為当 I Cの合流部などにおいて、速度低下が発生
- ○並行する国道1号の渋滞が最大530m減少

【開诵区間の交诵状況】

- ○開通区間の交通量は、約16,500台/12h
- ○並行する道路(国道1号、国道247号、県道等)の交通量が最大約10,000台/12h減少

記者発表クラブ

中部地方整備局記者クラブ、愛知県政記者クラブ、豊橋市政記者会、岡崎市政記者会、豊川市政記者クラブ、刈谷市政記者クラブ、安城市役所記者室、西尾市記者室在籍報道機関、 蒲郡記者クラブ、豊明記者クラブ、田原市政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 名四国道事務所 TEL:052-823-7911 カ だ はるき なかがわ たつや 副所長 和田 春樹 計画課長 中川 達也

つながる中部42.6

令和6年度開通する各道路事業の整備効果や開通に向けての進捗状況など積極的にPR

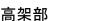


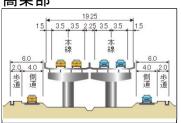


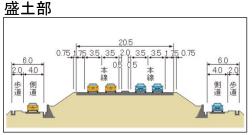


国道23号名豊道路は、名古屋市と豊橋市を結び沿線の8市1町を通過する72.7kmの高規格道路です。令和7年3月8日(土)に蒲郡バイパスの豊川為当IC~蒲郡IC間(9.1km)が開通したことで、名豊道路が全線開通しました。

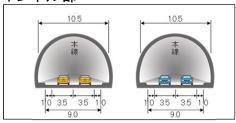








トンネル部



〈開通セレモニーの様子〉





- ■開通前は、前芝ICから蒲郡ICへの移動時に、主要渋滞箇所が連担する県道 豊橋幸田線や国道1号を利用する必要がありましたが、今回開通区間の利 用によって、前芝ICから蒲郡ICへの移動が<u>最大9分短縮</u>されました。
- ■一方、豊川為当ICの合流部などで、速度低下が発生しております。



〇前芝IC⇒蒲郡ICの所要時間(昼間12時間平均値)

〇豊川為当IC合流部の状況



・蒲郡バイパスを利用することで、名古屋市と東三河地域間の移動時間が10分程度 短縮されました。ドライバーの拘束時間の削減につながっていると感じています。 (蒲郡市の物流企業)

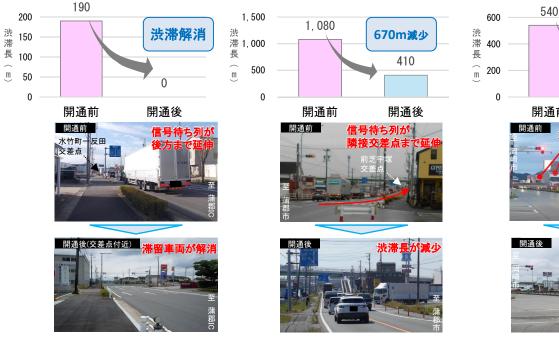


■蒲郡バイパスの開通により、国道1号では最大渋滞長が530m減少、 オレンジロードでは最大渋滞長190mが解消するなど、<u>周辺道路の渋滞が緩和</u> しました。



○周辺道路の渋滞緩和

<水竹町一反田交差点 北側流入部> <前芝宇塚交差点 北側流入部>



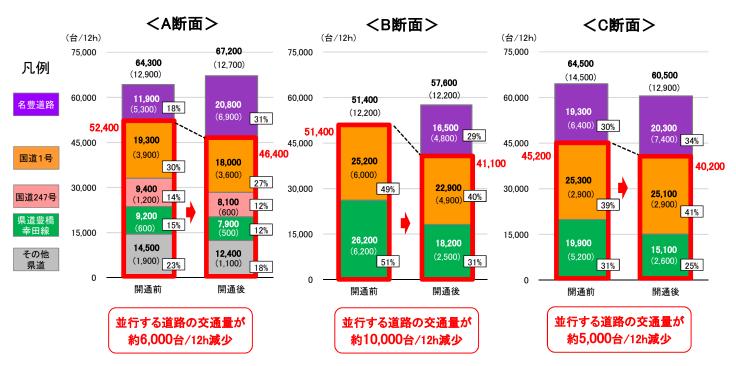
<京次西交差点 北側流入部>



- ■蒲郡バイパス(今回開通区間)の交通量は16,500台/12h
- ■今回開通区間に並行する国道1号、県道では交通量が約10,000台/12h減少 隣接する地域でも国道1号、247号、県道等で交通量が減少



○開通前後の交通量の変化



全車交通量(大型車交通量)

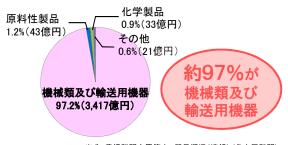
日本を支える「自動車産業」!さらなる成長に貢献!

- ■名豊道路に直結する三河港は、完成自動車を含む機械類及び輸送用機器が輸出額の約97%を占め、完成自動車の輸出台数が全国第2位と、全国を代表する完成自動車の輸出港です。
- ■名豊道路が全線開通したことで、自動車組立工場から三河港までの完成自動 車の輸送時間が短縮し、さらには輸送回数の増加等の効果が期待されます。

〇名豊道路を利用する完成車輸送便数



〇三河港の輸出額内訳(令和6年4月)



出典: 豊橋税関支署管内 貿易概況(速報)(名古屋税関)

〇港湾別自動車輸出台数順位(令和5年)



○開通による三河港への輸送回数の増加





速度条件: (現況)ETC2.0プローブ情報(令和6年6月平日昼間12時間平均旅行速度) (開通後)既開通区間:ETC2.0プローブ情報(令和6年6月平日昼間12時間平均旅行速度) 未開通区間:現行の規制速度(60km/h)